

社会資本総合整備計画 定量的指標達成状況

資料 1-1

計画の名称	計画の期間
泉佐野市下水道整備計画	平成27年度～平成31年度

社会資本整備総合交付金事業

指標 ①	計画の成果目標(定量的指標)	下水道処理人口普及率を35.2%(H27年度当初)から38.5%(H31年度末)に増加させる。
	定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率＝下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)

(1) 事業費の執行状況

(単位:百万円)

	計画値 全体	実績値 全体	実績値					執行率 (%)
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
全体事業費	2,033	1,380	231	248	242	333	325	67.9%
A 基幹事業 汚水管渠整備事業	2,013	1,353	224	242	237	329	321	67.2%
B 関連社会資本整備事業	—	—	—	—	—	—	—	—
C 効果促進事業 水洗便所改造奨励金交付事業	20	26.5	7.3	6.4	4.8	4.1	3.9	132.5%

(2) 施設整備の進捗結果

1) 汚水管渠整備延長

(単位:m)

	計画値	実績値	実績値					執行率 (%)
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
汚水管渠整備延長	9,305	16,302	3,242	3,451	2,833	3,751	3,025	175.2%
交付金事業	9,305	12,721	3,170	2,268	1,532	2,819	2,932	136.7%
その他事業	—	3,581	72	1,183	1,301	932	93	—

2) 汚水整備面積

(単位:ha)

	計画値	実績値	実績値					執行率 (%)
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
汚水整備面積	41.2	61.6	11.0	10.5	11.8	17.5	10.8	149.5%
交付金事業	41.2	49.8	9.6	7.9	7.4	14.3	10.6	120.8%
その他事業	—	11.8	1.4	2.6	4.4	3.2	0.2	—

(3) 定量的指標の達成状況

	年度	下水道処理人口普及率			達成率 (%)
		処理人口(人) A	行政人口(人) B	普及率 (A/B × 100)	
(参考)	H25	35,130	101,554	34.6%	—
	H26	35,691	101,221	35.3%	—
計画期間	H27	36,642	100,934	36.3%	—
	H28	37,685	100,767	37.4%	—
	H29	38,613	100,615	38.4%	104.1%
	H30	40,123	100,596	39.9%	—
	H31	40,908	100,287	40.8%	106.0%

定量的指標 (成果目標値)	備考
35.2%	当初現況値
—	
—	
36.9%	中間目標値
—	
38.5%	最終目標値

※ 処理人口、行政人口、普及率は、各年度末の数値
 人口は、住民基本台帳人口ベース
 本整備計画はH26年度中に作成のため、当初現況値はH26年度供用見込人口より算出

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況(1) (公共用水域の水質経年変化)

●泉州諸河川水系のBODに係わる環境基準達成状況

河川	測定地点	BOD基準値(mg/L)	BOD現況値(mg/L)			類型	適否		
			H17	H26	H30		H17	H26	H30
見出川	見出橋	10以下	12.0	7.9	6.7	E・イ	×	○	○
佐野川	昭平橋	10以下	9.0	5.2	4.8	E・イ	○	○	○
樫井川	兔田橋	3以下	4.8	4.5	2.3	B・イ	×	×	○
	樫井川橋	10以下	6.1	3.8	3.4	E・イ	○	○	○

●大阪湾のCODに係わる環境基準達成状況

海域	測定地点	COD基準値(mg/L)	COD現況値(mg/L)			類型	環境基準達成状況		
			H17	H26	H30		H17	H26	H30
大阪湾	A-3	2以下	3.1	2.6	2.8	A-II	×	×	×

《総括評価》

- 各河川及び海域の環境基準点における水質の推移状況より、下水道の普及促進に伴う水質の維持・改善傾向が確認された。
- 泉州諸河川水系のBODに係わる環境基準達成状況について、平成30年度水質結果より、環境基準が達成された。
- 大阪湾のCODに係わる環境基準達成状況について、市全体の下水道普及率が40%程度のため水質悪化は見られないが維持するに留まっており、環境基準達成のためには更なる普及促進が必要であると確認された。
- 公共用水域の安定的な水質保全・改善のため、引き続き、生活排水、事業所排水及び工場排水を下水処理場において処理すべく、下水道の普及促進が必要である。

●各河川・海域の水質の推移 (H17~H30)

【見出川】 (mg/L)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
BOD	12.0	12.0	12.0	8.7	7.2	8.5	7.8	7.4	10.3	7.9	6.5	5.8	7.3	6.7
COD	14.0	12.0	11.0	8.7	9.9	10.4	8.8	9.0	9.8	8.7	8.6	9.0	9.3	9.1
T-N	8.5	7.0	7.6	6.4	5.5	6.6	4.7	5.2	6.6	5.3	4.9	4.8	5.6	4.3
T-P	0.56	0.49	0.91	0.50	0.37	0.39	0.41	0.43	0.54	0.45	0.42	0.44	0.50	0.37
流量(m³/s)	0.17	0.17	0.17	0.22	0.26	0.20	0.35	0.23	0.17	0.23	0.28	0.32	0.18	0.35

【佐野川】 (mg/L)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
BOD	9.0	8.4	7.6	6.5	5.6	5.0	5.2	5.1	7.1	5.2	4.2	4.5	4.9	4.8
COD	13.0	12.0	11.0	9.4	10.0	10.2	10.1	10.0	11.8	9.8	8.4	8.8	9.8	8.4
T-N	4.0	3.8	4.0	3.5	3.0	3.5	3.3	3.1	3.6	3.5	3.0	2.9	3.1	2.3
T-P	0.73	0.70	0.68	0.81	0.56	0.64	0.76	0.67	0.75	0.65	0.61	0.57	0.58	0.43
流量(m³/s)	0.19	0.14	0.13	0.18	0.11	0.17	0.27	0.16	0.14	0.20	0.26	0.24	0.14	0.22

【樫井川上流(兔田橋付近)】 (mg/L)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
BOD	4.8	6.0	6.8	4.5	3.6	2.9	3.0	3.1	4.4	4.5	2.4	2.4	3.9	2.3
COD	9.1	8.5	9.7	6.5	6.9	5.6	5.6	5.6	6.7	5.9	4.6	5.0	6.3	4.5
T-N	2.4	1.8	2.3	1.5	1.4	6.2	1.6	2.1	1.7	1.5	2.5	2.7	2.7	1.3
T-P	0.13	0.11	0.13	0.13	0.11	0.76	0.09	0.13	0.14	0.11	0.11	0.14	0.14	0.07
流量(m³/s)	0.12	0.19	0.01	0.10	0.17	0.24	0.77	0.21	0.19	0.74	0.78	0.21	0.12	0.82

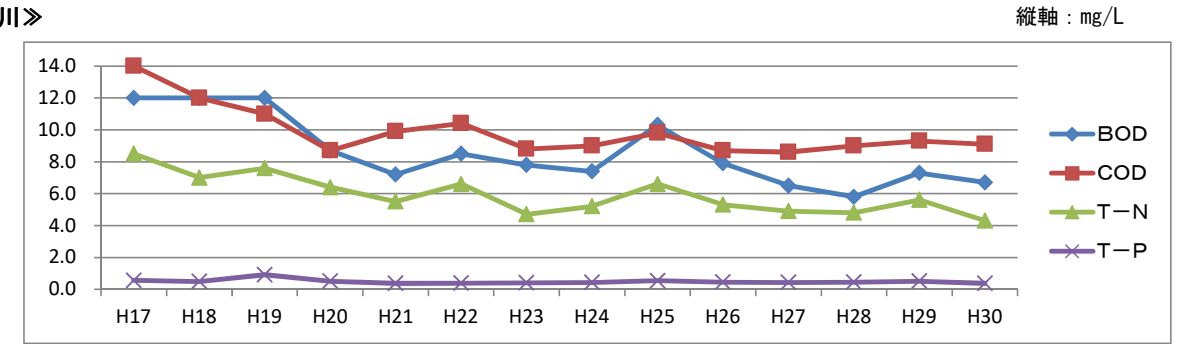
【樫井川下流(樫井川橋付近)】 (mg/L)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
BOD	6.1	7.2	7.1	6.0	4.7	5.1	4.3	3.7	4.2	3.8	3.4	3.2	4.4	3.4
COD	11.0	12.0	11.0	9.1	8.9	8.8	8.5	7.5	8.2	8.0	7.7	7.7	9.0	7.4
T-N	3.9	3.4	3.8	3.1	3.6	3.9	2.6	3.1	4.1	3.0	3.2	3.4	3.7	2.3
T-P	0.46	0.44	0.46	0.43	0.36	0.43	0.30	0.36	0.51	0.34	0.43	0.43	0.40	0.30
流量(m³/s)	0.41	0.71	0.23	0.41	0.48	0.50	1.22	0.47	0.37	0.98	1.00	0.41	0.27	0.80

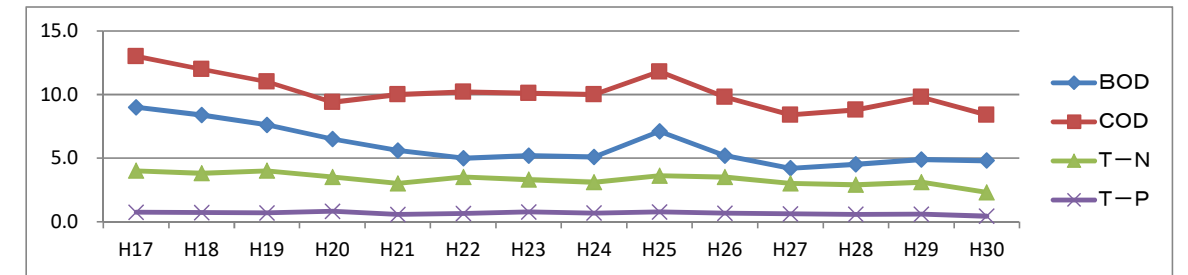
【大阪湾】 (mg/L)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
COD	3.1	2.5	3.0	2.9	3.0	3.0	2.4	2.7	3.0	2.6	2.6	2.5	2.5	2.8
T-N	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
T-P	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03

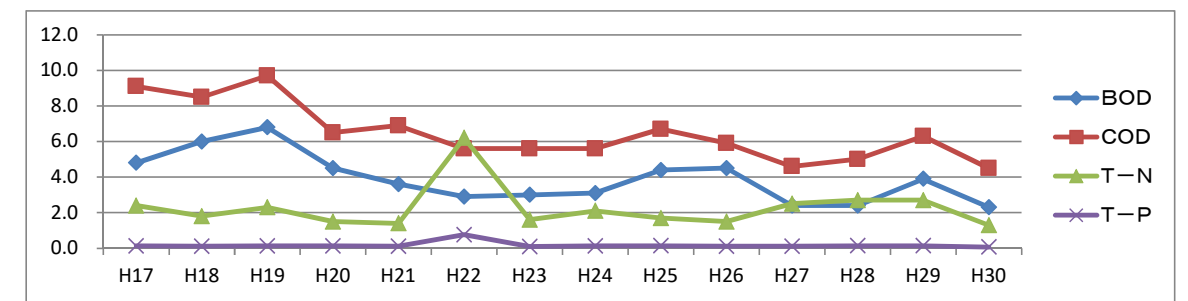
《見出川》



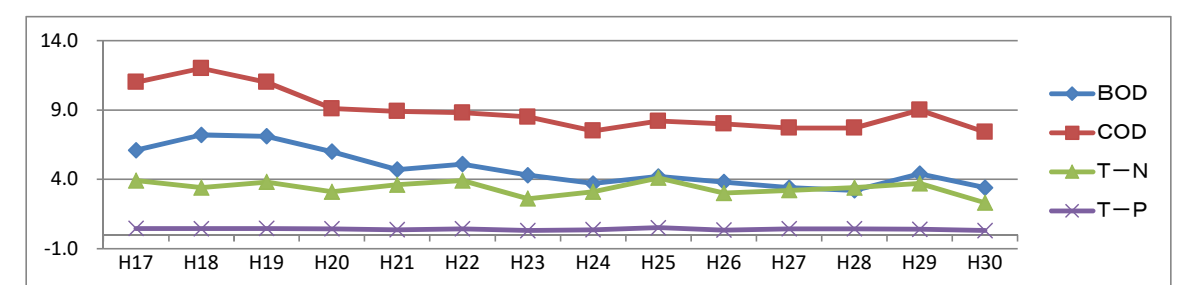
《佐野川》



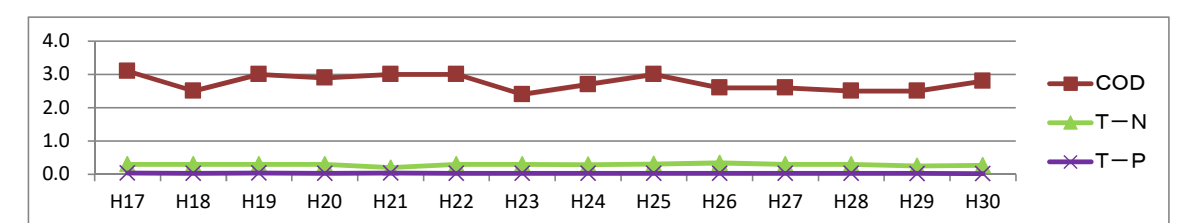
《樫井川上流(兔田橋付近)》



《樫井川下流(樫井川橋付近)》

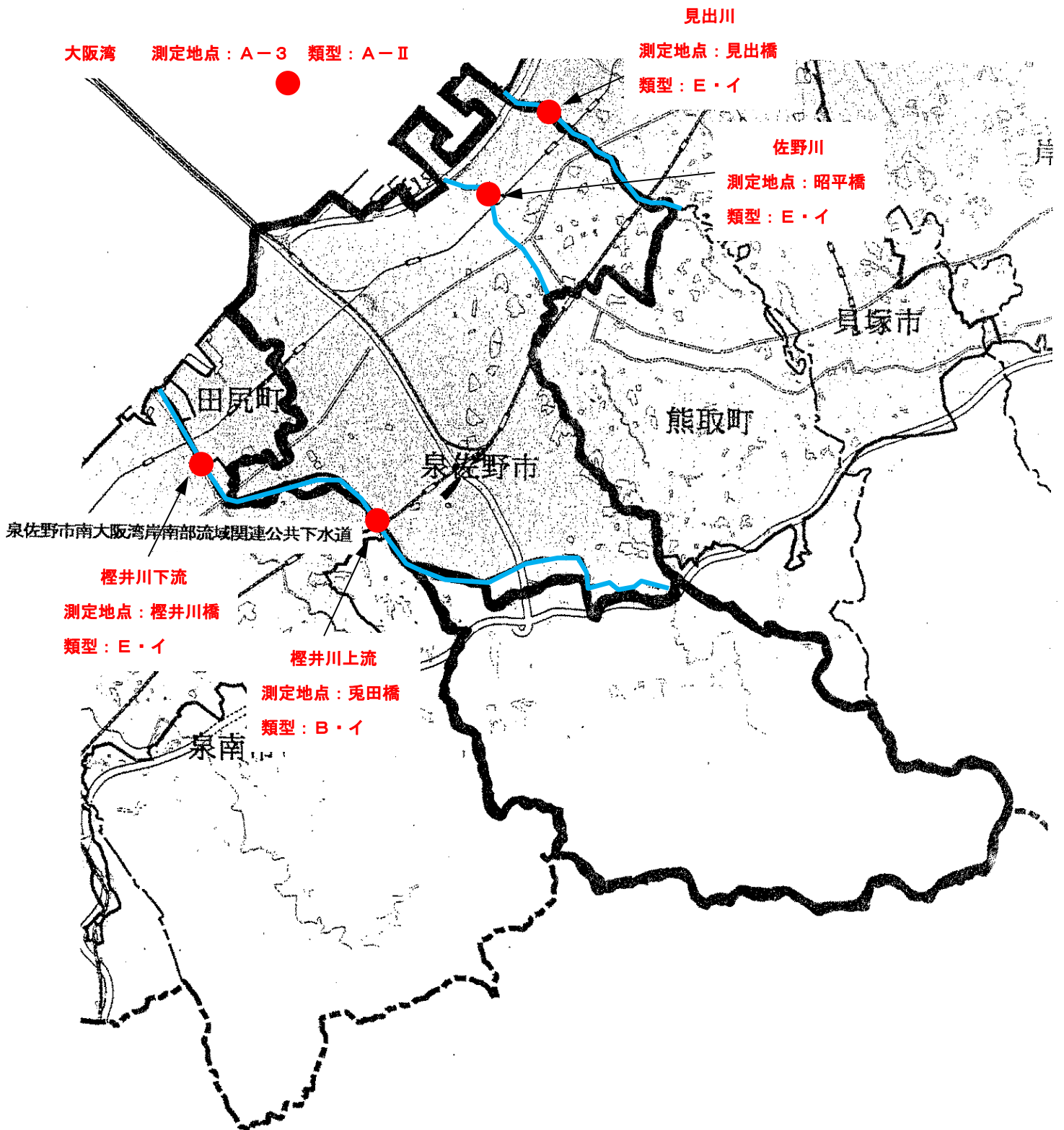


《大阪湾》



- BOD(生物化学的酸素要求量)とは、溶存酸素の存在のもとで有機物が生物学的に分解され安定化するために要する酸素量をいう。主に河川の環境基準に用いられる。
- COD(化学的酸素要求量)とは、水中の被酸化性物質が一定条件のもとで酸化剤によって酸化されるのに要する酸素量をいう。主に海域や湖沼の環境基準に用いられる。
- T-N(全窒素)とは、無機性窒素および有機性窒素の総量。窒素はりんとともに富栄養化の原因物質とされている。富栄養化が進むと植物プランクトン等の増殖繁殖により有機物が異常生産され水質が悪化するとともに赤潮、アオコ等の発生による被害が生じることもある。
- T-P(全りん)とは、水中のりん化合物の総量をそのリンの量で表したものである。

環境基準点位置図



凡例	
環境基準点	●

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況(2)

泉佐野市の下水道普及状況

※ 平成24年度より、住民基本台帳人口が外国人含む人口に改正 黄色セル公表値

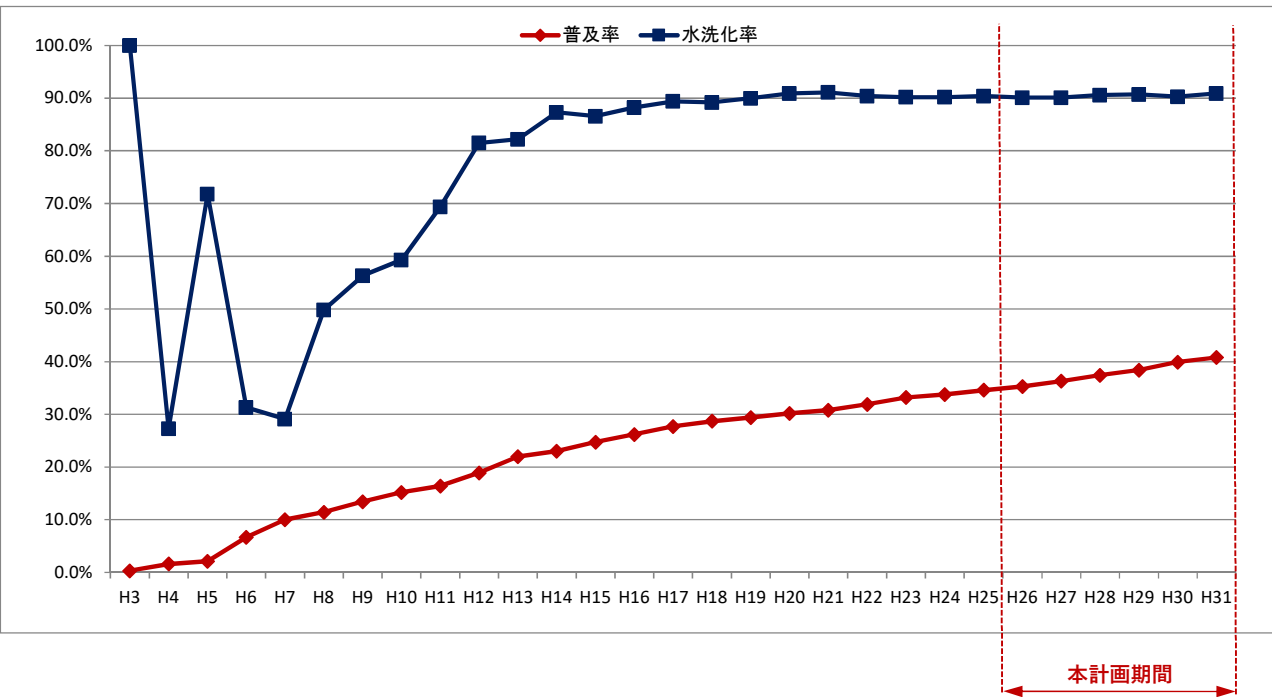
(単位:人)

年度	国交省方式【住基人口ベース】(外国人除く)					総務省方式【行政人口ベース】(外国人含む)				
	普及率 (E/D×100)	水洗化率 (F/E×100)	行政区域内 人口 D	処理区域内 人口 E	水洗化人口 F	普及率 (E/D×100)	水洗化率 (F/E×100)	行政区域内 人口 D	処理区域内 人口 E	水洗化人口 F
H3	0.3%	100.0%	89,395	312	312					
H4	1.6%	27.3%	89,304	1,415	387					
H5	2.1%	71.8%	89,864	1,875	1,346					
H6	6.7%	31.3%	91,641	6,110	1,913					
H7	10.0%	29.1%	92,833	9,270	2,695					
H8	11.4%	49.8%	94,360	10,756	5,353					
H9	13.4%	56.3%	95,159	12,730	7,166					
H10	15.2%	59.3%	95,845	14,609	8,668					
H11	16.4%	69.4%	97,282	15,916	11,050	16.4%	69.5%	97,962	16,025	11,134
H12	18.9%	81.5%	98,289	18,575	15,145	18.9%	81.5%	98,978	18,739	15,279
H13	22.0%	82.2%	99,208	21,794	17,924	22.0%	82.3%	99,963	21,979	18,086
H14	23.0%	87.3%	100,023	22,997	20,080	23.0%	87.3%	100,761	23,185	20,248
H15	24.7%	86.6%	100,467	24,774	21,463	24.7%	86.6%	101,307	24,994	21,657
H16	26.2%	88.2%	100,619	26,319	23,223	26.2%	88.3%	101,404	26,559	23,442
H17	27.7%	89.4%	101,243	27,994	25,034	27.7%	89.4%	102,028	28,255	25,274
H18	28.7%	89.2%	101,427	29,093	25,957	28.7%	89.2%	102,224	29,374	26,209
H19	29.4%	90.0%	101,745	29,939	26,931	29.4%	90.0%	102,550	30,132	27,108
H20	30.2%	90.9%	102,103	30,871	28,076	30.2%	91.0%	103,012	31,074	28,262
H21	30.8%	91.1%	101,904	31,362	28,568	30.7%	91.1%	102,834	31,571	28,761
H22	31.9%	90.4%	101,620	32,459	29,347	31.8%	90.4%	102,544	32,658	29,526
H23	33.2%	90.2%	101,364	33,665	30,366	33.1%	90.2%	102,362	33,925	30,593
H24	34.0%	90.2%	101,093	34,332	30,957	33.8%	90.2%	102,059	34,544	31,142
H25	34.7%	90.4%	100,551	34,923	31,566	34.6%	90.4%	101,554	35,130	31,740
H26	35.5%	90.1%	100,135	35,511	31,981	35.3%	90.1%	101,221	35,691	32,141
H27	36.6%	90.1%	99,619	36,484	32,880	36.3%	90.1%	100,934	36,642	33,022
H28	37.3%	90.7%	99,375	37,074	33,609	37.4%	90.6%	100,767	37,685	34,135
H29	38.3%	90.8%	98,879	37,823	34,329	38.4%	90.7%	100,615	38,613	35,027
H30	39.8%	90.3%	98,611	39,256	35,455	39.9%	90.3%	100,596	40,123	36,217
H31	40.7%	91.0%	98,099	39,932	36,326	40.8%	90.9%	100,287	40,908	37,166

本計画期間

	全国	大阪府平均
H30末普及率	79.3%	96.0%
H30末水洗化率	—	96.9%

● 供用開始以降の普及率・水洗化率の推移



● 近隣市町の普及率・水洗化率 (H30年度末)

【平成30年度末大阪府下水道統計より】

	岸和田市	貝塚市	熊取町	田尻町	泉南市	阪南市	岬町	泉佐野市
普及率(%)	95.7	63.9	81.1	97.5	57.4	51.9	78.4	39.9
水洗化率(%)	92.1	85.3	94.1	87.9	93.4	86.9	66.0	90.3

● 定量的指標(下水道処理人口普及率)に関連する交付対象事業の効果の発現状況

《評価》
 下水道の普及促進とともに、各家庭における水洗便所及び排水設備の設置・改造は、下水道事業の目的である「生活環境の改善」・「公共用水域の水質保全」などの事業効果発現を図るうえで、必要不可欠なものである。
 また、下水道事業経営上も、下水道使用料収入は経営基盤の安定化に資するものであるため、市が整備する下水道本管(基幹事業)に早期に一般家庭排水を接続・排水するよう促す施策として、水洗便所改造助成制度(効果促進事業)を設けている。
 これにより、社会資本整備総合計画期間(H27~H31)中、本市の水洗化率は、90%強を維持しており、当該制度は、「生活環境の改善」などの事業効果の早期発現に寄与しているものと考えられる。また、同時に当該制度に交付金を充当することにより、新たに相当程度の汚水管渠整備を実施するなど、普及促進にも寄与しているものと考えられる。